

市民参加推進会議  
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号 8 白井市都市マスタープラン改定事業（都市計画課）

質問事項	回答
<b>【全体に関する質問】</b>	
計画策定にあたり、各課との意見交換を行っていますか。	庁内全体に対して、意見照会を3回行ったほか、不明点の確認や調整が必要な点があった場合には、その都度担当者間で意見交換を行いました。
<b>【審議会に関する質問】</b>	
公募委員の募集方法について教えてください。	市ホームページ、広報しろい、メール配信サービス、公式SNS、市内各センター窓口、都市計画課窓口にて周知し、14名から公募委員申込書の提出がありました。
審議会公募委員の構成が低い（2名 13%）の理由を教えてください。	<p>都市計画審議会は、「都市計画法」に基づいて設置される市の附属機関で、その組織は、「都道府県都市計画審議会及び市町村都市計画審議会の組織及び運営の基準を定める政令」にて、市町村都市計画審議会を組織する委員は、学識経験のある者及び市町村の議会の議員と定められており、そのほか関係行政機関若しくは都道府県の職員又は当該市町村の住民を任命できるとなっています。</p> <p>上記の規定によることと、都市計画を決定する審議の際に高い専門性や経験による知見などが求められることから、現在、委員構成を下記のとおりとしているところです。</p> <p><b>【白井市都市計画審議会委員構成】</b> 定員15名以内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学識経験者：7名</li> <li>・市議会議員：5名</li> <li>・関係行政機関：1名</li> <li>・公募市民：2名</li> </ul>
<b>【パブリックコメントに関する質問】</b>	
パブリックコメント実施時の工夫があれば教えてください。	パブリックコメント実施時ではないが、関係機関（工業団地協議会、商工会、農業員会）の会合にて、都市マスタープランの改定の方向性やスケジュール等について、事前周知を行った。

【アンケート調査に関する質問】

高校生世代、若い世代のアンケート回収率が低いですが、改善に向けた方策の検討状況につき、具体的に教えてください。

若者に市政への関心を持っていただくよう、市としてターゲット層を絞った、イメージアップ戦略やPRが必要であると考えます。

今回のアンケート方法は、厳密に年齢を絞って無作為抽出した方に封書を送り、紙で回答し返信封筒で送る、またはQRコードを読み込んでWEB回答してもらうという方式であったが、回答しようとするまでのハードルが高いと感じています。

現在市の公式LINEの登録者数が2万人を超えていることを鑑みると、LINEでアンケートを実施することも1つかと考えています。

ターゲット層の年齢については、回収率の低い方法で確実に絞り込むよりも、回答者が自ら入力する年齢から集計すると割り切って、大きな母数へアンケートを配信することで、回答数については増加する可能性があるのではないかと考えています。